

# 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の概要

## プログラムの概要

- **ウイズ・ポストコロナ時代を見据えつつ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のありたい社会像（拠点ビジョン）**を策定。その達成に向けたバックキャスト※によるイノベーションに資する研究開発と、**自立的・持続的な拠点形成が可能な産学官連携マネジメントシステムの構築**を同時並行で推進する。
- これを通じて、大学等の強みや特色を活かしながら産学官の共創による拠点の形成を推進し、国の成長と地方創生に貢献するとともに、大学等が主導する知識集約型社会への変革を促進する。

**「人が変わる」**  
SDGs×ウイズ/ポストコロナに係るビジョンを共有

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、SDGsに基づく未来のあるべき社会像を探索し、参画する組織のトップ層までビジョンを共有。ウイズ・ポストコロナ時代の国の成長と地方活性化、持続可能な社会の実現を目指す。

**「大学が変わる」**  
持続的な産学共創システムの整備・運営

産学官共創拠点を自立的に運営するためのシステム（産学官共創システム）を構築。プロジェクト終了後も、代表機関が中心となり持続的に運営。

**「社会が変わる」**  
科学技術イノベーションによる社会システムの変革

ビジョンからバックキャストし、研究開発目標と課題を設定。組織内外の様々なリソースを統合することで最適な体制を構築し、デジタル技術も活用しつつ、イノベーション創出に向けた研究開発を実施。ビジョン実現に必要な社会実装、社会システム変革を目指す。

## プログラムのコンセプトイメージ

ウイズ・ポストコロナの国の成長と地方活性化 × 持続可能な社会の実現



SDGs×ウイズ/ポストコロナの社会像 (ビジョン) 共有

企業等との共同研究推進

科学技術イノベーション

自立的に運営するための仕組みと体制を構築

産学共創システム

(※) バックキャスト：あるべき社会の姿や社会ニーズから、主として科学技術が取り組むべき課題を設定、実施計画を策定して推進する手法